

女性活躍及びワーク・ライフ・バランス推進事業 【岡山市】

個別事業費	9,743 千円
交付金額	4,871 千円

地域の実情と課題

令和3年度の企業調査によると、市内企業の女性管理職割合は、令和7年度目標値15.0%に対し10.9%である。また、仕事と家庭の両立支援に取り組んでいる企業の割合は、令和7年度目標値70.6%に対し52.1%と前回調査よりともに上昇しているが、目標達成に向けて、女性自身の意識改革や企業の経営層・管理職への働きかけが引き続き必要である。同時に、両立支援制度の充実と利用しやすい環境づくりを促進するとともに、男性の家事・育児等への参画を促すことが必要である。

少子高齢化や人口減少の進展により、女性の参画がこれまで以上に求められる中、女性の社会参画にあたり、起業が選択肢となるよう、起業への心理的ハードルを払拭する必要がある。また、デジタル人材の需要が高まる中、女性のデジタルスキルの向上と就労支援が必要である。

事業の特徴

- 女性自身の意識改革や必要なスキル習得のための集合型セミナーと、働き方改革やワーク・ライフ・バランス等に軸を置いた講師派遣型セミナーを実施(女性活躍に向けたトータルサポート)
- これから就職を考える大学生を対象として、ワーク・ライフ・バランスの意義や重要性についてロールモデルの体験を基に学び、管理職を含めさまざまなキャリアプランを考えるきっかけとする出前講座を実施(大学生のためのキャリア形成応援講座)
- 女性起業家等を講師とし、起業への心理的ハードルを払拭するためのイベントを実施。また、コーディネーターの伴走により起業に必要な初歩的な考え方を学ぶ連続プログラムを実施(女性起業家育成支援事業)
- ライフステージの変化により離職した女性や非正規雇用の女性を対象とし、エクセルとCanvaを学ぶ講座をオンラインで開催するとともに、個別相談や就労支援(自己分析や面接対策等)、マザーズハローワーク等と連携することにより一貫した支援を実施(女性のためのデジタル人材育成および就労支援事業)

事業の効果

職場における女性活躍やワーク・ライフ・バランスの重要性についての気づきを与え、また、女性自身の意識改革や大学生の理解促進ができ、女性活躍推進及びワーク・ライフ・バランスに向けた意識を形成することができた。

女性起業家育成支援事業では、起業の心理的ハードルを払拭し、初歩的な考えを学ぶことにより、起業へむけての支援ができ、スタートアップ支援拠点につなぐことができた。また、女性のためのデジタル人材育成および就労支援事業では、デジタルスキルを習得し、就労にむけて一貫した支援を実施することにより、本人の希望する形での就労を支援することができた。

目的・目標

女性活躍推進に向けた意識啓発等により、企業における管理的地位への女性の進出を後押しすると同時に、両立支援制度の充実、利用しやすい環境づくりを促進、男性の家事・育児等への参画を促し、ワーク・ライフ・バランス社会の実現を目指す。また、女性の社会参画にあたり、起業の促進と、デジタルスキルを習得し就労につなげる支援を実施する。

	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業目標	市の実施する企業における女性活躍推進、ワーク・ライフ・バランスの啓発講座などの受講者数	毎年500人以上 (アウトプット)	538人	107.6%
	「コミュニティ形成イベント」「ワークショップ」「プログラム」に参加した延べ人数	100人 (アウトプット)	115人	115.0%
	市の実施する再就職支援講座受講者のうち就職に向けて活動した人の割合	毎年80%以上 (アウトカム)	72.2%	90.3%
事業KPI	本事業を通じた起業者数および起業準備者の割合	20%	88.9%	444.5%
	参加者のうち就労した人の割合	20%	44.4%	222.0%

連携団体

岡山市女性活躍推進協議会構成団体(岡山県、岡山市、損害保険ジャパン(株)、日本労働組合総連合会岡山県連合会、岡山商工会議所、就実大学、NPO法人輝くママ支援ネットワークばらママ、(株)ちゅうぎんフィナンシャルグループ、岡山労働局、JA岡山)、マザーズハローワーク、ハローワーク

今後の課題

女性管理職の登用やキャリア形成など女性活躍推進の取組を行っている企業は増えているが、中小企業ほど取組が進んでいない。また、仕事と生活を両立しながら能力を発揮するためには、制度の充実だけではなく、制度を利用しやすい環境づくりや長時間労働の削減など、企業の総合的な取組を促進することが重要であることから、企業の経営層を含め社員全員の意識変革が不可欠であり、引き続き地道な働きかけが必要である。

少子高齢化や人口減少の進展、また、女性割合が少ないデジタル分野での需要が高まる中、女性の社会参画が今まで以上に求められている。起業が選択肢の一つとなるよう、また、デジタルスキルを習得し本人の希望する形での就労につながるよう、引き続き支援が必要と考える。

事業の概要

女性活躍及びワーク・ライフ・バランス推進事業

【女性活躍に向けたトータルサポート】

女性社員を対象にした意識改革や必要なスキルの習得のための集合型セミナー(全2回の連続講座)を2回開催した。また、働き方改革やワーク・ライフ・バランス等に軸を置いた講師派遣型セミナーを市内企業10社で実施した。

女性社員向け集合型セミナー
チラシ



講師派遣型セミナー
チラシ



【大学生のためのキャリア形成応援講座】

これから就職を考える大学生を対象として、ワーク・ライフ・バランスの意義や重要性について、岡山市女性活躍推進協議会の構成団体の社員等のロールモデルの体験を基に学び、管理職を含めさまざまなキャリアプランを考えるきっかけとする出前講座を2大学で実施。また、講座開催前後の意識の変化について、講座終了後にアンケートを行った。

【女性起業家育成支援事業】

女性起業家等を講師とし、起業への心理的ハードルを払拭するためのイベントを4回実施した。また、コーディネーターの伴走により起業に必要な初歩的な考え方を学ぶ連続プログラムを実施した。



イベント
チラシ

連続プログラム
チラシ

【女性のためのデジタル人材育成および就労支援事業】

ライフステージの変化により離職した女性や非正規雇用の女性を対象とし、エクセルとCanvaを学ぶ講座をオンラインで開催した。また、3回の個別相談や就労支援(自己分析や面接対策等)、マザーズハローワーク等と連携することにより一貫した支援を実施した。

チラシ

